

2017年12月1日

## アースドリル『SDX407-2』マイナーチェンジ機発売に関して

日立住友重機械建機クレーン(株) (社長: 横山 昇吾) は、好評を頂いている国内向けアースドリル機『SDX407-2』を一部改良し、デザインとカラーリングも新たに12月1日より販売を開始しました。

キャブ内には視認性・操作性にすぐれた新型の大型モニタを搭載し、ブレーキペダルはつり下げ式タイプを採用。同時に補助つり性能も13tへ向上させるなど、一層使いやすしい機械に進化させました。

### <主な特徴>

#### 1. パワフルな作業性

最大掘削トルクは、69kN・mを発揮。掘削深度は最大で48.5m(ケリーピン位置)まで到達します。補助つり性能は従来オプション設定の13tを標準仕様とし、余裕ある性能ですぐれた作業性能を発揮します。

#### 2. 操作性の向上

8インチの新型ディスプレイを採用した大型モニタを搭載し、従来離れた位置に表示されていたアースドリル作業時の深度計やロータリテーブルの前後、左右角度を表示する傾斜計をモニタに集約させることで、作業時の視界が広がり、操作性が向上しました。モニタには、ケリーロープ交換の目安として使える掘削長積算機能も新たに搭載しています。

また、拡底管理装置は操作のしやすいタッチパネル式へと一新しました。

運転シートには、長時間作業の疲労を軽減する新型運転シートを採用し、すぐれた居住空間と使いやすさを叶えています。

さらに、ブレーキペダルはつり下げ式を採用し、更なる操作性を追求しました。

#### 3. すぐれた輸送・組立性

後端半径3.82mのコンパクトな車体とスムーズなセットアップを可能にする3段テレスコピックブームで、都市部などの狭隘地での作業にも威力を発揮します。

また、ブームとフロントアタッチメントを一体化したサブフレーム式を採用。本体とサブフレームはシリンダ操作ピン4本で脱着が可能のため、フロントアタッチメントの組立・分解が容易かつスピーディーに行えます。

<主要仕様>

SDX407-2		アースドリル
フロント形式		箱型3段伸縮ブーム
ブーム長さ		21.0~10.5m
ケリーバ長さ		15.6m × 4段
最大掘削深度（ケリーピン位置）		48.5m
最大掘削径	軸掘バケット（一般土質）	2,200mm
	最大拡底径	1,400~3,100mm
掘削トルク		69 /39kN・m<7/4 tf・m>
最大補助つり能力		13.0t
バケット回転数		21/10.5 min <sup>-1</sup> <21/10.5 rpm>
スラストストローク		560mm
エンジン名称		いすゞ4HK1X
定格出力		147kW/2,100min <sup>-1</sup> <200PS/2,100rpm>
全装備質量*		68.6t
販売価格（税別）		126,500千円
年間販売台数		5台

\*ケリーバ、ホースリール付、ただしバケットは除く。



**SDX  
407-2**

※本文並びに写真はオプション装備品を含みます。

注) ニュースリリース記載の内容は、発表日現在の情報であり、その後予告なしに変更される場合もありますので、ご了承ください。

**日立住友重機械建機クレーン株式会社**

東京都台東区東上野6-9-3 Tel:03-3845-1396 Fax:03-3845-1394

[www.hsc-crane.com](http://www.hsc-crane.com)